

ひきこもりに関するアンケートを実施します

～令和6年2月実施予定～

ひきこもり当事者やご家族が安心して受け止めてもらえる場所、理解してもらえる場所へつながるために、皆様のお声をお聞かせください。

今後のひきこもり支援施策の基礎資料とするほか、必要な方へ必要な支援を届けることのできる体制づくりに反映させていきたいと考えておりますので、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

❖調査の対象

横手市において、15歳以上64歳以下の個人が属する全ての世帯

❖調査票の配布

調査票は対象世帯の世帯主宛てに、2月中に郵送します

❖回答方法

インターネットまたは郵送(返信用封筒同封)
※回答は家族のどなたがされても結構です

❖アンケートタイトル

令和5年度 市民の生活状況に関する調査
～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～

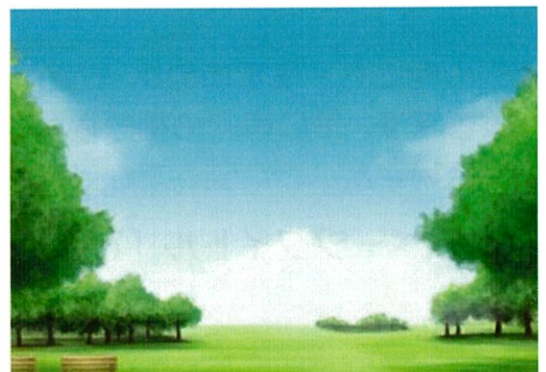


ケアマネジャー、相談支援事業所、福祉協力員や民生委員の方々へは、上記の市民アンケートとは別に支援者向けアンケートを配布させていただきます。個々の回答について、外部に出ることはありません。ご協力をお願いいたします。

◆◆◆お問い合わせ先◆◆◆

横手市まるごと福祉課 地域福祉係(本庁舎1階)

☎ 23-5881



ひきこもりの悩みを抱えていませんか

～正しい理解を持ちましょう～

❖ひきこもりとはどのような状態のこと？

様々な要因により、社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊等）を避け、概ね6ヶ月以上家庭にとどまり続けている状態（他者と関わらない外出がある場合も含む）のことを示します。

❖どのくらいいるの？

民生委員らへのアンケートを基にまとめた、秋田県の「ひきこもりに関する実態調査」（令和2年11月現在）にて、ひきこもり状態にある15～64歳の方は秋田県内に987人いることがわかっています。

一方、内閣府は15～64歳の国民の約2%に当たる約146万人がひきこもり状態にあるとの推計をまとめています（令和5年3月31日公表）。横手市に単純に置き換えるとおよそ840人になります。

❖悩んだときは相談を

ひきこもりは、特別なことでも恥ずかしいことでもなく、誰にでも起こりうるものです。あなたや家族が抱えているさまざまな不安や困りごとを、どこに相談すればいいのかわからず、そのままになっていませんか。

まずは、相談してみませんか。あなたの身近にも相談できる窓口があります。

・生活が苦しい ・8050問題 など	横手市自立相談支援 窓口 （中央町・市役所本庁舎1階）	☎32-6101	✉ yokote-ksd@ grace.ocn.ne.jp
・健康に不安がある ・精神的に不安定 ・話を聞いてほしい ・仲間が欲しい など	横手市健康推進課 （横山町・横手保健センター内） ※または 各地域局 市民サービス課	☎33-9600	✉ kenkou@ city.yokote.lg.jp
	横手保健所 （旭川・県総合庁舎内）	☎32-4005	✉ hiraka-we@ pref.akita.lg.jp

上記の他にも、横手市のホームページから「ひきこもり相談支援場所一覧」を見ることができます。主に市内の相談場所や居場所、つながりの場を掲載しておりますので、ご覧ください。

ホームページタイトル「ひきこもりの悩みを抱えていませんか」 [ID1009935](#)